

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 31
R4. 9. 2
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

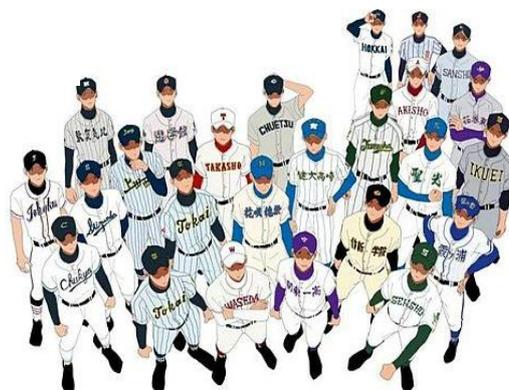
夏の甲子園を見て考えさせられたこと...

猛暑が続いた夏休み、甲子園球場では高校球児が一戦必勝のドラマを繰り広げていました。

仙台育英学園高校が、東北勢悲願の初優勝を果たし、聖光学院高校が福島県勢51年ぶりのベスト4入りを果たし、大いに盛り上がりました。

今年の夏の甲子園は、スタンドにコロナ禍以前のように一般観戦者の姿が戻ってきました。その光景を見て、コロナウイルスは消滅しなくても、どんな形であれ、やがてコロナ禍が収束するのではないかと希望の光をテレビ画面を見て感じていました。一日も早いコロナ禍の収束を心より祈っております。

さて、今年の夏の甲子園の選手宣誓は、横浜高校の主将、玉城陽希選手が行いました。その選手宣誓の中で、こんなフレーズがありました。



これらの苦しい時期を乗り越えることができたのは、ほかでもない、ここに甲子園があったからです。



これを聞いて、改めて感じたことは、「夢」や「目標」を明確にすることの重要性です。「夢」や「目標」を明確にすることで初めて自分の命を燃やす意味が生まれるのだなと、思いました。そんなことを改めて考えさせられた選手宣誓でした。

磐梯一小の合言葉は「ドリーム&チャレンジ!」です。本校の子どもたちにも命を燃やす夢や目標を持ってほしいと強く思いました。

素晴らしいチャレンジ精神!

昨日子どもたちに知らせたばかりの「校長室暗唱チャレンジ!」に、早速挑戦する6年生の姿がありました。高学年の課題は、1学期に比べ少し難しく、練習がだいぶ必要だと思っていたのですが、あまりの早さに驚きました。

そして何よりも、

「よし、挑戦するぞ!」

「すぐに取り組もう!」

という、課題に対し、真正面から立ち向かうチャレンジ精神が素晴らしいなと感じました。



「親子でチャレンジ!」前回の答えは、3の「常識」です。他の言葉は「未解決」「未完成」「未成年」というように「未」が付きますが、「常識」は「非常識」となります。